

# インドネシア現地座談会



座談会参加者で握手する

## 座談会出席者

- 【日本側】  
株マスタック 代表取締役社長 増田 文治氏  
日本リファイン(株) 代表取締役社長 川瀬 泰人氏  
株ヤチダ 代表取締役社長 谷地田 茂明氏
- 【インドネシア側】  
インドネシア日本友好協合理事長、パナソニック・ゴーベル・インドネシア(PGI)会長 ラフマツト・ゴーベル氏  
インドネシア工業省先端技術産業局長 シャリフ・ヒダヤット氏
- 【コーディネーター】  
日刊工業新聞社 井水治博社長

## 谷地田氏 高品質の溶接技術提供

## シャリフ氏 日本の投資で成長確信

井水 続きましてインドネシア政府を代表してシャリフさんに、現在のインドネシアの経済状況についてお聞きします。

シャリフ 現在、日本からインドネシアへの投資は好調です。政府は高度な技術を持った企業を歓迎しています。船舶、自動車、電気・電子、機械という4業種が大きな柱です。今後期待したいものは環境に優しい省エネ製品をインドネシアで製造していただきたい。二つ目はデジタル機器をイ

ンドネシアで作るための基礎づくりを期待しています。三つ目は医療機器です。これらの分野で日本の投資家からインドネシアに投資してもらえたら、間違いなく成長すると確信しております。

井水 ありがとうございます。今度はマスタックの増田社長に最近の状況についてお話しします。三つ目は医療機器です。これらの分野で日本の投資家からインドネシアに投資してもらえたら、間違いなく成長すると確信しております。

増田 私どもは主に菓子機械の製造と菓子そのものを製造する事業を手がけています。日本は東京オリンピックを契機に、高速道路や新幹線などのインフラが整備さ

れそれに伴ってスーパーマーケットが発展し、そこに供給するペーカリーが相次いで新工場を建設しました。その成長を背景に、機械メーカーがパンや菓子の生産技術を提供し、急速な成長を遂げました。ところが、過去20年間、日本はデフレ状況が続く、中長期的には人口が減少します。菓子を売る会社もオーバーストアの状況です。このため、今後の成長戦略を考える上で、日本の菓子業界はアジア、中国、南アジア諸国連合(ASEAN)に目を向けています。私どもはインドネシアに菓子機械をまだ多く納めておりません。したがって今がチャンスだと思っております。商品をかいて安く作るか、現地の方は、どのような菓子を好むか、日本製の技術をどのように応用すればよいのかなどを考えた上でインドネシア現地で生産に対応していきたいと思っております。

井水 ありがとうございます。続きまして、谷地田さんにお話を聞かせてほしいと思います。

谷地田 当社は真空機器の製造と、電子ビーム溶接や高速5軸加工機で機械部品の精密加工を手がけています。真空機器は半導体やソーラーパネル生産の用途に使われています。電子ビーム溶接は厚さ15mmまでの異種材の溶接技術を高品質で



①活発に意見を交換 ②ピンタン島内の工業団地



## 増田氏モノづくりの流通網を



シャリフ・ヒダヤット氏

井水 日本側の発言に対する感想を含めて、日本企業がインドネシアへ進出する場合の立地状況など最新情報についてお話をいただければと思います。シャリフさん、お話し下さい。

シャリフ インドネシアは交通渋滞が年々激しくなっています。政府は将来の事業です。特に電子ビーム溶接を高品質で

気産業の廃棄物については環境省と一緒に規制を策定中です。お菓子の話がありましたが、インドネシアの2億4000万人の人口が毎日お菓子を食べたら、非常に大きな需要になります。インドネシアにもいくつかの代表的なお菓子があります。インドネシア企業も自国の菓子を日本の菓子技術を生かして発展できると願っています。

井水 インドネシア政府の考えを受けまして、日本側からそれぞれインドネシア政府に対する要望や期待などをお伺いしたいと思います。

増田 インフラの話ですが、ぜひジャカルタオリンピックを開催し

ていただき、それを契機にして、一気にインフラ整備を進めていただきたいと思っております。二つ目はモノづくりのサプライチェーンを整備していただきたい。私の会社では協力工場がスラバヤ近くの工業団地で機械の一部を加工・組み立てしています。材料は韓国やシンガポールから輸入していますが、なかなか納期通りに入らない。(その解決策として)ASEAN経済域の中で、それぞれの国が得意な分野をでけるなど、役割分担をしながら、タイムリーに安価に原材料が手に入る仕組みづくりをお願いしたいと思っております。

川瀬 環境規制は厳し

## 東南アジアの成長エンジン インドネシア特集



資源循環と  
環境保全に貢献する